



しみず学びのエリア

ふじみだい

学校だより 4月号

令和8年 4月 8日
板橋区立富士見台小学校



<https://www.ita.ed.jp/1310261>

「新しい自分」への一步を

校長 川勝 肇恵

お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

うらかな春光を浴び、58名の新1年生を迎え、全校児童394名14学級で令和8年度の輝かしい幕がスタートしました。柔らかな春の光を浴びて登校してくる子供たちの姿には、一つ学年が上がったという誇らしさと、新しい環境への少しの緊張感が入り混じっています。新1年生の希望に満ちた初々しい瞳、そして進級した在校生の、上級生としての自覚が芽生え始めた頼もしい表情。学校に再び子供たちの明るい声が響き渡るこの瞬間こそ、私たち教職員にとって最も身が引き締まり、かつ喜びを感じる時です。

本校には、長年大切に受け継いできた「つよく 正しく 美しく」という教育目標があります。この言葉は、時代がどれほど激しく変化しようとも、子供たちが自らの足で人生を歩んでいくための揺るぎない羅針盤です。困難に立ち向かう「つよさ」、自らを律し誠実に生きる「正しさ」、そして他者を思いやり、感動する心を忘れない「美しさ」。これら三つの調和がとれた育成こそが、私たちの変わらぬ使命です。

一方で、令和の時代を生きる子供たちには、伝統を守るだけでなく、自らを変革し、新しい価値を創造していく力も求められています。今年度は、この伝統的な目標を土台としつつ、子供たちが「主体性」をもって一步踏み出す教育活動にいつそう注力してまいります。

「昨日までの自分」に満足することなく、「新しい自分」に出会うために挑戦する。その過程で生まれる「つながり」を力に変え、多様な人との「かかわり」を深い学びへとつなげていく。そんな活気あふれる学校生活を、組織一丸となって創り上げていく決意です。

新しい環境への船出は、期待とともに不安も伴うものです。特にこの時期は、子供たちの心も繊細に揺れ動きます。ご家庭におかれましては、お子様の話をゆっくりと聞き、その一步を温かく支え、励ましてあげてください。学校と家庭、そして地域が同じ方向を向き、手を取り合うことで、子供たちは安心して自分の翼を広げることができます。

令和8年度も、本校の教育に対する変わらぬご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。なお、今年度の具体的な経営方針や重点目標につきましては、後日開催いたします保護者会の冒頭にて詳しくお話しさせていただきます。皆様のご出席を心よりお待ちしております。

